

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙1枚にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づいて実施される民間資金等の活用による公共施設等の整備等に関する事業（PFI事業）について，従来型の公共事業と比較した場合の特徴を述べるとともに，事業の実施により期待される効果を説明せよ。

Ⅱ-1-2 公共施設が十分でなく建築物の建替えが相当程度行われる市街地において，都市計画法第12条の5で規定されている一般型の地区計画制度を活用する際，地区整備計画で定めることができる内容を複数挙げ，それらを定めることにより当該市街地において期待される効果を述べよ。

Ⅱ-1-3 敷地内に空地を確保することにより，用途地域等により定められた建築物の容積率の最高限度を超えることができる制度を1つ挙げ，その特徴を簡潔に述べよ。  
また，当該敷地内の空地に期待される効果を複数挙げ，その具体的な内容を述べよ。

Ⅱ-1-4 都市緑地法に基づく市民緑地には，市民緑地契約制度に基づくものと，市民緑地設置管理計画の認定制度（以下，「市民緑地認定制度」という。）に基づくものがある。  
平成29年に市民緑地認定制度が創設された背景を述べるとともに，両制度の共通点及び相違点について説明せよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し，答案用紙２枚を用いてまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 一定の基盤整備がなされているものの，細分化された土地や空き地・空き家などの低未利用地が散見されている人口30万人の地方都市の既成市街地内において，土地の有効利用を促進するために，敷地を集約化・共同化する小規模な土地区画整理事業を実施することとなった。

事前の調査や事業計画の策定に関する業務を担当責任者として進めるに当たり，小規模な土地区画整理事業の特徴に留意し，下記の内容について記述せよ。

- (1) 事前に調査，検討すべき事項とその内容について説明せよ。
- (2) 前問(1)の事前の調査，検討の結果を踏まえ，事業計画の策定までの業務手順を列挙し，それぞれの段階で留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- (3) 業務を効率的，効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

Ⅱ－２－２ 人口30万人の地方都市において，地震災害等の自然災害に対する防災構造を強化するために，市街地内の幹線道路に隣接した約20haの民間施設の跡地を取得して，広域避難地の機能と地域防災拠点の機能を有する都市公園（以下，「当該防災公園」という。）を新たに整備することとなった。

自然災害の発生時に，当該防災公園が，広域避難地の機能と地域防災拠点の機能を適切に発揮できるようにする上で必要となる，事前の調査や当該防災公園の整備計画の策定に関する業務を担当責任者として進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 事前に調査しておくべき事項とその内容について説明せよ。
- (2) 前問(1)の事前の調査の結果を踏まえ，当該防災公園の整備計画を策定する業務手順を列挙し，それぞれの項目ごとに留意すべき点，工夫を要する点を述べよ。
- (3) 事前の調査から当該防災公園の整備計画の策定までを効率的，効果的に遂行するために調整することが必要となる関係者を列記し，それぞれの関係者との連携・調整について述べよ。

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し，答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

Ⅲ-1 我が国において観光需要が近年，急速に回復する中，一部の地域においては旅行者の過度な集中に伴い，周辺地域の住民の生活に悪影響を及ぼす，旅行者の満足度が低下する等のいわゆるオーバーツーリズムが生じ，旅行者の受け入れと住民の生活の質の確保が両立した持続可能な観光地域づくりが求められている。

このような状況を踏まえ，都市及び地方計画分野の技術者として以下の問いに答えよ。

- (1) 今後も旅行者の受け入れを拡大する中で，オーバーツーリズムの課題を，技術者としての立場で多面的な観点から3つ抽出し，それぞれの観点を明記したうえで，その課題の内容を示せ。
- (2) 前問（1）で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ，その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 前問（2）で示したすべての解決策を実施しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について，専門技術を踏まえた考えを示せ。

Ⅲ-2 密集市街地は，区域内に老朽化した木造の建築物が密集し，十分な公共施設が整備されていないことなどから，火事又は地震が発生した場合において延焼防止上及び避難上確保されるべき機能が確保されていない。首都直下地震等の巨大地震の発生が想定される中，密集市街地の安全性の向上は喫緊の課題となっている。このような状況を考慮して，以下の問いに答えよ。

- (1) 大都市において，密集市街地の街区内部の改善促進に取り組むに当たり，技術者としての立場で多面的な観点から3つの課題を抽出し，それぞれの観点を明記したうえで，その課題の内容を示せ。
- (2) 前問（1）で抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ，その課題に対する複数の解決策を，専門技術用語を交えて示せ。
- (3) 前問（2）で示したすべての解決策を実施しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について，専門技術を踏まえた考えを示せ。